

分野	地域環境・地球環境				
施策	①市内に生息する希少な動植物の調査、情報の整理、公表				
	②「特定外来生物法」で指定されている生物の駆除・防除				
	③環境楽習塾の開催				
施策の実施状況					
①国・県のレッドリストを参考に、希少植物の生育状況などの調査を有識者等の協力を得て行いました。令和３年は３月～11月で、延べ60箇所 の調査を行い、新たにカワチブシ、ツメレンゲ、キキョウを含む34種類の希少種（植物：28／動物：6）が確認できました。また、希少動植物に関するホームページを見直し、希少動植物の情報を充実させただけでなく保全する理由や守るためにできることなどと呼びかけるものとししました。					
②県森林環境税を活用した基金事業を利用してオオキンケイギクの防除作業を実施し、市内の大規模群生地のうち23箇所（4,872㎡）にて防除を行いました。また、ボランティア防除により自治会、事業者、個人ののべ19回行われた防除活動の支援を行いました。セアカゴケグモは、通報に基づく現地確認と生息確認された３件の駆除を行いました。令和３年９月に新たに市内で確認されたアルゼンチンアリは、県や事業者とともに道路や河川沿いの防除を行うとともに、住民・事業者 にベイト剤（毒餌）を配布して敷地内の防除も進めました。					
アライグマ、ヌートリアについては外来生物法に基づく防除計画を策定し、狩猟免許を所持していない者でも従事者登録を行うことにより檻の設置や、捕獲をできるようにしています。実際の駆除については、猟友会に委託しています。					
③里山を守る人を育て、里山の大切さを知ってもらう講座である環境楽習塾を５回開催しました。					
7月18日（日） 参加者17名 里山を知る（植物観察、竹刈体験、竹コップ作り）					
7月31日（土） 参加者４名 里山整備を知ろう①（鋸、鎌等を用いた下草刈り体験、樹木の伐採）					
8月８日（日） 参加者５名 里山整備を知ろう②（山林の測量方法やチェーンソー講習、樹木の伐採体験）					
10月23日（土） 参加者５名 森の素材の活用①（里山散策、里山の素材を利用したフォトフレーム作り）					
11月６日（土） 参加者12名 森の素材の活用②（丸太切り、薪割り、火起こし体験）					
参考とする指標					
指標内容	令和２年度	令和３年度			
希少動植物の生息確認数	52種	34種			
希少動植物の調査箇所数	93箇所	60箇所			
オオキンケイギクの防除量	2.1 t	2.0 t			
アライグマの捕獲頭数	39頭	9 頭			
ヌートリアの捕獲頭数	8 頭	3 頭			
環境楽習塾	4 回	5 回			
施策の課題及び今後の方針					
①里山や湿地で保全活動をしている団体と連携をとり、生息している希少種の保全を進めていますが、継続的に調査を行うためには、職員を含めた調査を担える人材の育成が必要と考えています。					
②オオキンケイギクについては防除活動を継続することで成果が出るため、自治会などの協力も得ながら今後も継続的に防除に努めます。また、新たに生息確認されたアルゼンチンアリは、全国各地で生息確認され、防除が行われていますが、根絶された事例が1件しかありません。県や専門家、住民などと連携して粘り強く作業を進めていきます。					
アライグマ、ヌートリアについては、行政や農業者団体、猟友会等と農業者間の連絡を密にし、広域的に足並みを揃えて対策を行うことにより、特定外来生物の絶対数を減少させます。耕作放棄地の適正な管理への意識向上を図るなど、鳥獣を寄せ付けない環境づくりを目指します。また、わな猟免許取得に対し補助金による支援を行うことで、担い手の育成を図ります。					
③より多くの市民に関心を持ってもらえるように講座内容や周知方法を工夫する必要があります。里山整備をしている市民団体と協働で講座を開催することにより、団体の活動も知っていただき、高齢化している団体への加入支援にも繋げたいと考えています。					
①	A	②	A	③	B

分野	都市環境・住居環境								
施策	①気温一斉観測100×100の実施、公害防止協定の締結								
	②屋外焼却禁止の指導・啓発								
	③生活騒音の防止に向けた個別指導								
	④景観アドバイザーによる緑化相談窓口の充実を図る								
	⑤コミュニティバスなど公共交通機関の利便性向上及び利用促進								
施策の実施状況									
①市内100箇所の気温を100年測る事業である気温一斉観測100×100を 8 月 1 日に実施しました。参加者は70名、観測箇所数は110ヶ所（計測機含）でした。節目となる10回目の開催ということで、過去に 5 回以上参加された人のうち、代表で学生 3 名に賞状と記念品を贈呈しました。また、10年間の記録をまとめたことにより、緑地と市街地の気温の違いなど、一定の傾向を読み取ることができました。									
公害防止協定に基づき、大気汚染を含む事業内容に応じた項目について、各事業所から測定結果の報告を受けました。放流水について協定値を超過（法基準未超過）した事例が1件あり、改善策を報告させました。									
② HPや広報紙にて屋外焼却の禁止の啓発、窓口でのチラシ配布を行いました。また、状況に応じて消防や警察、県環境課と連携して原因者への指導を行いました。令和 3 年度は前年度と比べ全公害苦情件数は減少しており（154件→140件）、屋外焼却も60件と減少しました。									
③ 6 月に一般地域 3 箇所の騒音調査を行い、全ての場所で環境基準を満たしていました。令和 3 年度の騒音苦情は21件で、工場や建設現場での作業や家庭生活での騒音が主な原因でした。また、騒音・振動の規制内容や区域などをお知らせするホームページを作成しました。									
④景観まちづくり、建築物等のデザイン又は色彩や緑化等について、まちづくりコーディネーター相談会の周知を、都市計画課窓口や元久々利まちづくり委員会定例会で行いました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、相談者はありませんでした。									
⑤コミュニティバスの利用促進を目的にバスの乗り方講座の実施（5 回）、バス停標識及びベンチの点検によるバス待ち環境の整備、運転免許証自主返納者に対するバス回数券の配布事業（234人）を実施しました。									
参考とする指標									
指標内容	令和 2 年度	令和 3 年度							
屋外焼却への対応件数	71件	60件							
景観アドバイザー相談件数	1件	0 件							
コミュニティバス利用者	61,827人	65,951人							
施策の課題及び今後の方針									
①気温一斉観測100×100については、より多くの市民に事業の内容を知り、参加してもらえよう実施方法や内容の検討を行う必要があります。今後は環境パートナーシップ・可児のアドバイザーである大学の先生にアドバイスをもらい、このことについて実行委員会で検討していきます。									
事業者に対して公害防止協定に基づく測定結果の報告を求め、基準超過が発生した際には状況に応じて関係機関と連携を取り、改善指導をしていきます。									
②屋外焼却の増加を抑制するために継続的な周知、状況に応じた関係機関との連携により適切な指導を継続して実施します。									
③今後も継続的に騒音測定を実施すると共に、建設業、製造業関係者への騒音規制の周知を進めていきます。									
④相談制度を更に活用していただくよう周知を継続して行う必要があります。									
⑤利用者が分かりやすく、利用しやすいコミュニティバス運行のためのサービスの改善、利用促進 P R 活動を進める必要があります。									
①	A	②	A	③	A	④	B	⑤	A

令和 3 年度

環境基本計画（第3次）評価基準施策 点検評価シート		担当課	環境課
分野	資源・エネルギーの持続的利用		
施策	①資源回収を行う団体への奨励金交付など、市民の自主的な活動の支援 ②タバコやごみのポイ捨てなどの防止対策（環境美化推進指導員の活動支援） ③食品系、木質系廃棄物のバイオマスなど再生可能エネルギー（新エネルギー）導入の調査		
施策の実施状況			
①紙類、布類、アルミ缶・スチール缶、びん類の資源回収を行った29団体（小中学校PTA、子ども会、自治会など）に対し、合計3,190,772円の奨励金を交付しました。また、自治会、会社、グループなどで行っていただくボランティア清掃活動（のべ71団体、参加者数のべ948人）に対して、ゴミ袋の支給やごみ収集の支援を行いました。			
②ポイ捨て及びふん害防止重点地区として37地区を指定し、68人の環境美化推進指導員を委嘱しました。巡回によるポイ捨て及びふん害の指導や啓発を実施していただきました。			
③民間活力を生かした再生可能エネルギー施策を展開するため平成30年度まで募集していた「新たなエネルギー社会づくり事業」により提案され、現在検討している事業が1件あります。生ごみ等の廃棄物系バイオマスを資源として利用する発電事業です。新型コロナウイルスの影響があり会議等が開けておらず、進展がありません。公共施設への太陽光発電設備の導入については、事業者と検討を行いました。			
参考とする指標			
指標内容	令和2年度	令和3年度	
資源回収奨励金額	3,343,956円	3,190,772円	
環境美化推進指導員	71人	68人	
施策の課題及び今後の方針			
①新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、令和2年度より各戸訪問回収から拠点回収への切替等により、回収量が減少しています。特に移動手段の無い高齢者が資源物排出に困るケースが発生しています。			
②地区の中にはごみ拾いのみ行っている地区、慣例により指定している地区があるため、本来の目的である指導・啓発が行われるよう、また、地域の美化状況を把握していただくよう重点地区指定の見直しを検討しています。			
③検討中の事業者が行う再生可能エネルギー事業について、引き続き想定する施設の基本計画や事業性について事業者と調査、研究を行い、行政として何ができるのか検討していきます。また、公共施設への太陽光発電設備の導入については、引き続き可能性を調査していく方針です。			
①	A	②	A
		③	C

分野	環境教育							
施策	①学校行事や教科・総合的な学習の時間の中での、自然や環境、野生動植物の大切さについての学習の推進 ②行政職員も含め環境問題について学ぶ機会を充実させ、環境活動を推進する人材の育成 ③カワゲラウォッチング・里山の日イベントなど、環境学習につながる事業の実施 ④学校給食での地場農産品の使用の推進							
施策の実施状況								
①広見小学校の環境学習については、総合的な学習の時間で4年生を対象にごみの分別、外来生物、可児川の水質調査、水生生物調査の内容で計3回実施しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、4回実施予定のところを回数減らしての実施となりました。 今渡南小学校の環境学習については、総合的な学習の時間で4年生を対象に可児川の水質調査、水生生物調査の内容で計6回実施しました。								
②職員は、次世代エネルギー、騒音悪臭公害等可能な限り研修（ZOOM等オンライン参加含）に参加し、情報及び知識の習得に努めました。また、市民の方に対して市職員が講師として植物、省エネ等の講座を4回行いました。								
③河川の水生生物を調査することにより、河川の水質状況を確認し、水質の保全及び浄化の重要性を認識してもらうことを目的としたカワゲラウォッチングについては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため規模を縮小して開催し、11名の参加がありました。 可児市環境フェスタは、実行委員会での話し合い、令和2年度に引き続きオンラインにて開催しました。 ・開催期間：2月18日から3月7日 サイト閲覧者数：389名 ・内容：小中学校発表3校、参加団体の取り組み紹介、環境クイズ、リサイクル自転車抽選など。 ・環境ポスター、環境川柳は動画で特設サイトに掲載するとともに広見地区センターで展示を行いました。 里山の魅力や大切さを伝え、里山団体の活動報告の場である里山の日は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、イベントは開催せず5つの公共施設にて活動内容の展示を行いました。展示の様子は中日新聞にも取り上げていただきました。								
④毎月の献立に可児市産の食材を使った日には、マークを付け周知しています。岐阜県産を27.8%使用し、県内の地場農産品の使用を推進しました。								
参考とする指標								
指標内容	令和2年度	令和3年度						
講座開催件数	7回	13回						
可児市産地場産物の使用割合	4.1%	3.5%	可児市食育推進計画 目標値（令和6年） 2.7%					
施策の課題及び今後の方針								
①引き続き小学校等に積極的に働きかけていきます。また、令和4年度にこれまでの植物調査の結果をまとめ、可児市の植物を知ってもらうための資料を学生とともに作成していきます。また、ペットボトルの「ボトルtoボトル」リサイクルに関連した環境教育についても、協定を締結したサントリーと実施していきます。								
②職員は継続して積極的に研修等に参加します。市民には、地域による生涯学習活動を支援するため、市職員が講師として地域、集会、学校などへ出向き、行政の取組や情報などをお伝えする生涯学習講座「楽学講座」の内容を充実させ、興味を持って講座を受けてもらえるようにします。								
③環境フェスタについては、令和2年度よりもサイト閲覧者数が減少していることが課題です。そのほかの事業も含めて、より多くの市民に関心を持って参加してもらえるよう、各事象の実施内容の見直しを行っていきます。								
④県内の農産品について調査を行い、岐阜県・可児市産の使用割合を増やしていきけるようにしていきます。また、今後も毎月の献立、給食の時間の放送等で周知していく他、機会を見つけて地場農産品の使用を推進していきます。								
①	A	②	B	③	C	④	A	